

## 若手普及職員の OJT 研修 (サイレージ調製) を実施しました!パートI

日高農業改良普及センターは、若手畜産担当者が企画した OJT 研修を実施しています。

6月19日は、日高町にてグラスサイレージ調製に関する OJT を実施しました!主に、収穫作業～スタックサイロでの調製方法について、適切な切断長や昨年貯蔵したサイレージの発酵品質について学びました。

サイレージ品質の把握は、リトマス試験紙による pH 測定で活用できることやパーティクルセパレーターで原料草の切断長が適切かを判断できることが分かりました。

また、貯蔵量推定調査では、サイロの大きさ、密度、原物量を求めることで、粗飼料の過不足が把握できることを学びました。

今回、学んだことを地域の粗飼料生産向上の活動につなげていきたいと思います。

※パーティクルセパレーターとは?

粗飼料の切断長を調査する道具 3～4段のふるいにかけて各段の粗飼料の割合によって適切な切断長かどうかを判断します。

(執筆者:普及指導員 菊地 聖崇)



発行品質確認 (pH4.0 以下かどうか)



パーティクルセパレーターによる切断長調査



貯蔵量推定調査 (サイロの体積測定)



踏圧状況確認

日高農業改良普及センターホームページはこちら!